



ALTIMA
PROTEIN SKIMMER

アルティマ DC プロテインスキマー

NANO

取扱説明書




この度は ZOOX アルティマ DC プロテインスキマーをご購入いただき、誠にありがとうございます。
本説明書は、NANO に対応しています。
ご使用に際し、この取扱い説明書をよくお読みいただき、使用方法と構造をよくご理解した上でご使用
ください。お読みになった後は、いつでもすぐに読むことができる場所に大切に保管してください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用頂き、ご使用される方や他の人々への危害や損害を
未然に防止するためのものです。

以下に、本書に使用している表示とその意味を説明します。誤った取り扱いをしたときに生じる危険と
その程度を、次のように区分しています。

注意事項の区分


 危険	「人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容」を表します。
 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を表します。
 注意	「人が損害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容」を表します。


マークの意味


 禁止	 強制	 電源プラグを抜く
--	---	---


電源プラグ・電源コード・コンセントの取り扱い


警告

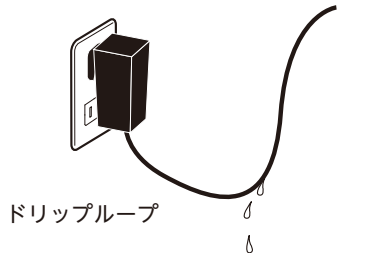
-  **電源は、交流 100V で、定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する**
交流 100V 以外での使用や、コンセントを他の器具と同時に使うと火災・感電の原因になります。
延長コードが必要な場合は正しい定格のコードを使用してください。器具の定格より低いアンペア数やワット数対応のコードを使用するとオーバーヒートにつながる危険があります。

-  **電源コードや電源アダプターを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない**
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

-  **濡れた手で電源の抜き差しをしない**
感電の原因になります。

-  **電源アダプターは、根元まで確実に差し込む**
感電や発熱による火災の原因となります。


-  **電源コードには必ずドリップループを設ける**
水滴がコードを伝ってコンセントに接触しないようにしてください。火災・感電の原因になります。





安全上のご注意 (つづき)

電源アダプター・電源コード・コンセントの取り扱い

警告


 水槽に手を入れる場合・メンテナンスを行う際は電源アダプターを抜く
感電の原因になります。


 電源アダプターのほこりは、定期的に取り除く
ほこりなどがたまると、湿気などにより火災の原因となります。乾いた布で拭き取ってください。

 電源アダプターをコンセントから引き抜くときは、電源アダプターを持って引き抜く
コードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因になります。


設置するとき


警告


 高温になる場所(火のそば、熱器具のそば、炎天下など)や、直射日光の当たる場所には設置しない
禁止
35℃以下の室内でのみ使用することができます。


 電源コード、アダプターに水のかかる場所へ設置をしない
禁止
感電・漏電することがあります。

注意

 本製品に衝撃を与えないよう、持ち運び・設置等の際の取扱いには十分注意する
衝撃を与えると、破損・故障の原因になります。


 お子様へ危険を及ぼす恐れのある場所には設置しない
禁止


 屋外での使用や、放置をしない
禁止
発熱・破裂などの原因になります。

 ネジを締めすぎない
禁止
破損・故障の原因になります。


使用するとき


警告

 異常時(こげ臭いなど)は、すぐに電源アダプターをコンセントから抜き、使用を中止する
発熱・火災の原因となります。購入された販売店もしくは弊社までご連絡ください。

 ポンプに水が循環できない状態かつポンプ内に水が満たされていない状態で動作させない
故障や火災の原因となります。

注意

 本製品を改造・加工等しない
禁止
破損やケガの原因となります。

 推奨される用途以外での使用はしない
禁止
思わぬ事故や危険を招く恐れがあります。

●ご使用の前に



- ・本製品は内部式プロテインスキマーです。
- ・ポンプの停止による、生体等の補償は行っておりません。予めご了承の上、ご使用ください。

ポンプは下記の注意事項を守ってご使用ください。

- ・水位の低下等でポンプが空運転しないように注意してください。
- ・本体に砂や異物が吸い込まれないようご注意ください。これにより深刻なダメージを受ける場合があります。また、この場合は保証の対象外となります。
- ・腐食性または研磨性のある液体でのご使用はお止めください。
- ・ポンプを持つ際は、コードを持ってポンプを持ち上げないでください。
- ・石灰藻やカルシウム成分、コケなどが付着しないように定期的に清掃を行ってください。
- ・アダプターをコントローラーに接続する際は、必ずアダプターがコンセントに接続されていない状態で行ってください。
- ・付属のアダプター以外を使用しないでください。

●仕様

Model	ポンプ最大消費電力 [※]	定格電圧 / 周波数	最大対応水量	空気流入量(L/h)	流量(L/h)	本体サイズ(cm)
NANO	12W(±5%)	100-240V 50/60Hz	250L	300	450	W14.5×D7.5×H38

対応水温：35℃以下

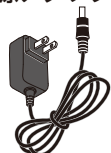
※コントローラーの消費電力は含まれていません。

●パッケージ内容の確認

本体と全ての付属パーツを箱から取り出し、輸送中の損傷等が無いをご確認ください。特にコード部分に傷が付いていないことをご確認ください。万一、損傷等が見られた場合は、使用せずに販売店にご連絡ください。

- プロテインスキマー本体
- コントローラー
- コレクションカップ
- ハンギングパーツ
- ホース
- 電源アダプター
- 取扱説明書
- 保証書

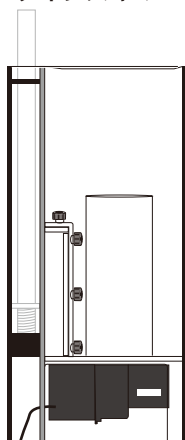
電源アダプター



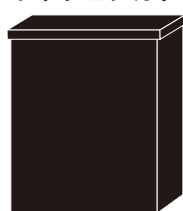
コントローラー



プロテインスキマー本体



コレクションカップ



ハンギングパーツ



ホース

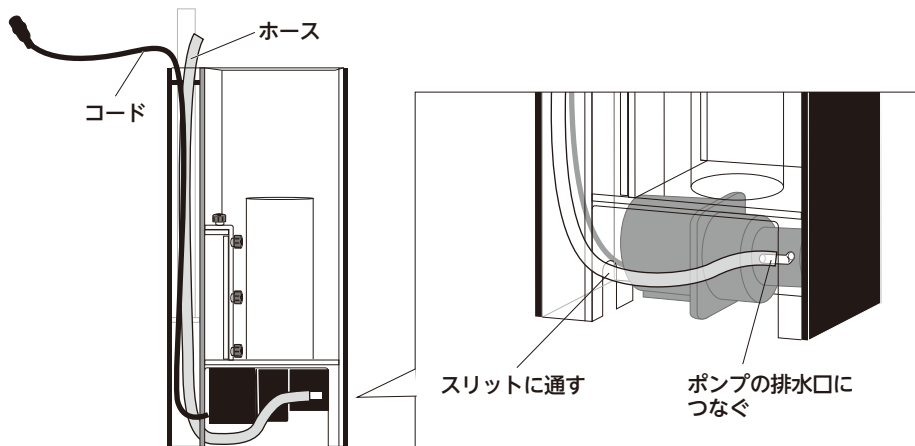


●設置方法について

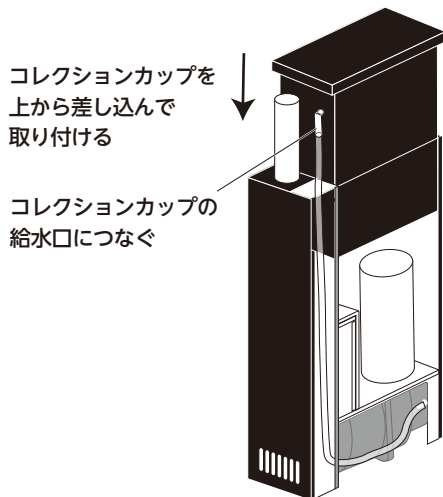
はじめに

- ・調整パーツを完全に下げ、排水口を100%閉じるとコレクションカップから水が漏れます。最低でも10%以上は開いているようにしてください。
- ・プロテインスキマー使用時には、粘膜保護剤やその他水の粘度があがる商品を使う事はできません。ご注意ください。
- ・水位の低下等でポンプが空運転しないように厳重に注意してください。
- ・ご使用前に、本体・コレクションカップ・ポンプをよく水洗いしてください。

1. 下図を参考に、プロテインスキマー本体に、ポンプから出ているコードとホースを通してください。ホースの先はポンプの排水口へつないでください。



2. プロテインスキマー本体に、コレクションカップを取り付け、ホースの先をコレクションカップの給水口につなげてください。



3. オーバーフロー式のサンプ内、もしくは背面(側面)ろ過水槽で使用できます。
 サンプに掛けて使用する場合は、ハンギングパーツをプロテインスキマー本体に通し、
 左右のネジで本体に固定します。
 希望の場所にハンギングパーツを掛け、ハンギングネジを締めて設置してください。

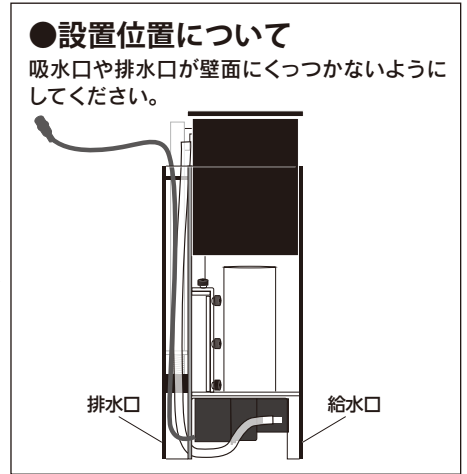
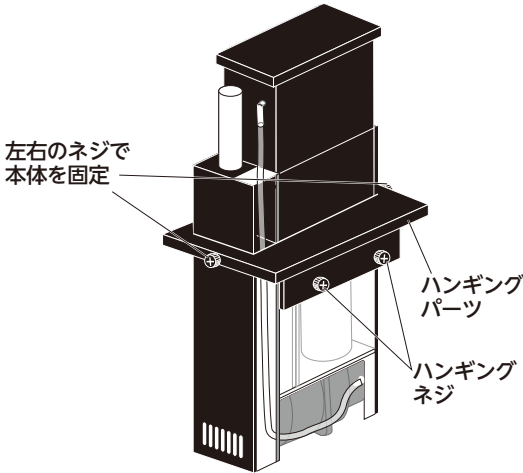


注意

濾過槽仕切り版(オーバースキミング時に水が外にこぼれない場所)以外での
 ハンギングパーツのご利用はおやめください。

オーバースキミング時にコレクションカップから水漏れが発生する原因となります。

※ネジを締めすぎると、本体や設置場所の破損の原因となりますのでご注意ください。

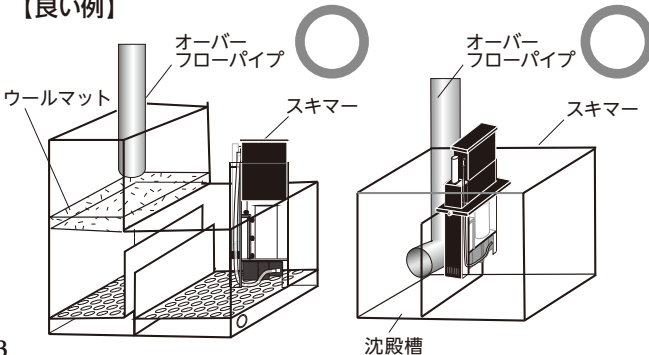


●サンプへの設置について

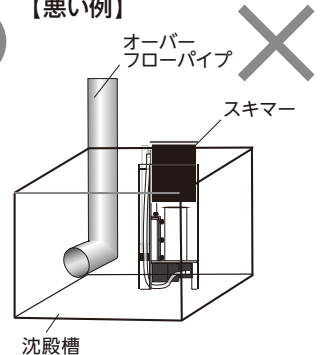
プロテインスキマーを設置するサンプは、飼育水が物理フィルター(ウールマット等)を通過し
 ゴミのない状態でプロテインスキマー内部を通るような構造のものが理想的です。
 それが困難な場合は、大きなゴミ(ライブロックの破片・サンゴ砂等)が詰まりポンプの故障に
 つながる場合がありますのでご注意ください。

また、ベルリンシステム(プロテインスキマーのみ)で飼育する方も、同様にウールにて
 物理処理を行うか、ろ過槽に沈殿槽を必ず設けてください。

【良い例】



【悪い例】



●背面（側面）ろ過水槽使用方法について

オーバーフロー式のサンブがない場合、ろ過区画の仕切られた背面（側面）ろ過水槽でも使用することができます。



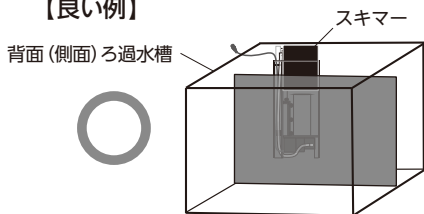
注意

オーバースキミング時に水が水槽外に漏れない設置方法、または漏れたときの安全対策を行ってください。

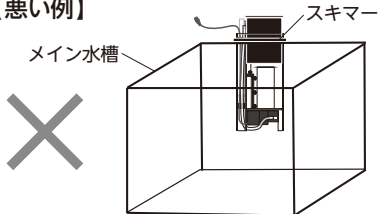
メイン水槽へハンギングで設置すると水槽外への水漏れの危険があります。絶対に行わないでください。

ウール等で物理処理が行われない状態でのご使用は生体や異物のポンプへの混入によりポンプの故障や不具合の原因となります。異物混入によるポンプの故障等は、保証対象外です。

【良い例】



【悪い例】

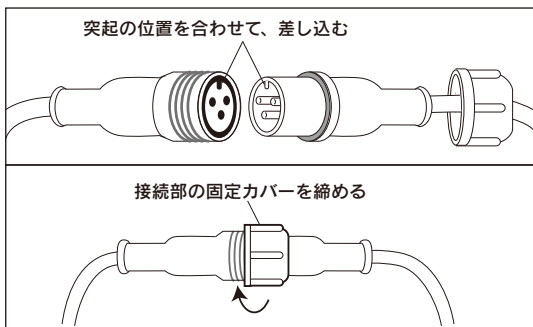


4. ポンプとコントローラーのジョイント部分を下記の接続方法を参考にして繋げてください。

その後、コントローラーに電源アダプターを繋げてください。

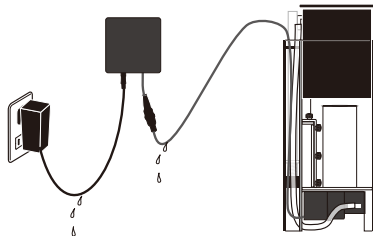
その際、どちらのコードにも必ずドリップループを設けてください。

コントローラーは水のかからない場所に設置してください。



注意

「ドリップループ」とは、水がコードを伝ってコンセント等に接触するのを防ぐためのものです。



5. 本体が水中にあり、本体が水で満たされていることを確認してから電源をコンセントに接続してください。

※ポンプが破損する恐れがありますので、空運転しないようご注意ください。





●スキマー内の調整用法

スキマー内の水位と泡の量を調整するには、2つの方法があります。
併用して調整を行ってください。

最初に、コントロールパイプを反時計回りに回して、調整パーツを一番上まで上げ、排水口を100%開放した状態から調整を始めてください。

メインの調整：流量調整コントローラー

コントローラーを使い、ポンプの流量を1～9の9段階で調整することができます。
使用開始時はポンプパワー“5前後”で稼働を始めてください。
ポンプパワーを上げる場合は最大限の注意を払い、泡の状態を定期的に確認してください。
※ポンプパワーを上げると処理能力が上がりますが、気泡漏れを起こしやすくなります。

-  **電源ボタン**
電源のON/OFFを行います。
-  **-ボタン**
ポンプパワーを弱くし、流量を減らします。
-  **+ボタン**
ポンプパワーを強くし、流量を増やします。
-  **フィードボタン**
1度押すと30分間ポンプが停止します。

※設定時間が経過した後、元のパワーで自動的に動き始めます。

※設定中は、パワー表示画面の数字の横に●マークが表示されます。

コンセントを抜くと、パワー表示画面に一時的にLと表示されますが、問題ありません。

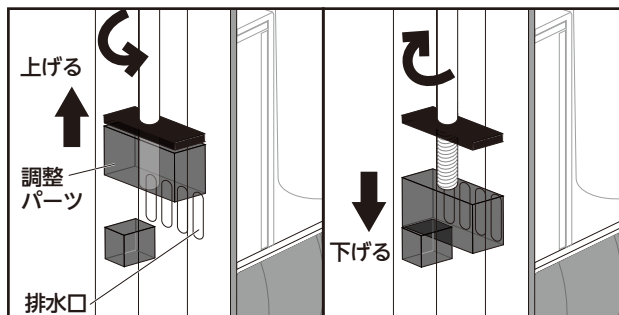


パワー表示画面

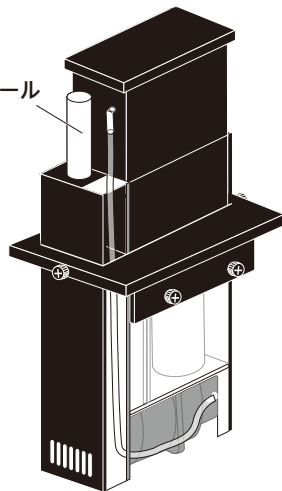
MEMO

微調整：コントロールパイプ

排水量を調整できる可変式バルブです。
時計回りに回すと排水量が多くなり、反時計回りに回すと水位を上昇させることができます。



コントロールパイプ



パイプを時計回りに回して、調整部分を徐々に下げ、スキマー内部の水位が理想的な水位で安定するようセットしてください。

調整部分の下げすぎ(排水口の締めすぎ)はオーバースキミングの原因となります。可能な限り排水口を開いた状態でご使用ください。

※セッティングは最大限の注意を払って行ってください。

設置してからしばらくは、正常に動作しているか、水漏れがないかを確認してください。



調整部分を完全に下げ、排水口を100%閉じるとコレクションカップから水が漏れます。最低でも10%以上は開いているようにしてください。

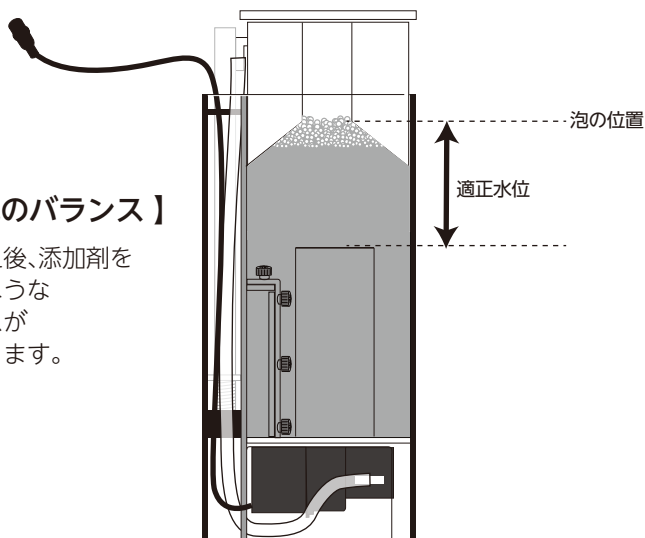


セット初期・水換え後、メンテナンス直後は泡が大量に発生する事がありますので定期的に確認してください。安定まで長くて二週間程度かかる場合があります。

調整の目安(汚れのとれ具合)

カップ内に濃い茶～黒の粘性の高い汚濁物が溜まるように調節してください。

カップ内に薄い黄色～茶色の水が溜まっている場合は、泡の量や水位を下げて様子を見てください。



【理想的な水位と泡のバランス】

※セット初期や水換え後、添加剤を添加した後は図のような水位と泡のバランスが保てない場合があります。



蒸発などで設置場所の水位が下がると、スキマーの能力が低下するだけでなく、ポンプが壊れる原因となりますので注意してください。

餌やりなどで、一時的に水位が下がる場合がありますが、数時間で元に戻りますので、コントロールパイプを動かさないでください。

設置している水槽やサンプ内の水位が変わった場合は、最初から調整をし直してください。

●メンテナンスについて

- ※必ず電源プラグをコンセントから抜き、通電していないことを確認してから行ってください。
- ※ポンプの構造をよく理解してから行ってください。
- ※洗剤や硬いスポンジやブラシを使用しないでください。
- ※電源コードやコンセントを清掃する際は、乾いた柔らかい布で清掃してください。
- ※ネジの締めすぎは破損の原因となりますのでご注意ください。
- ※メンテナンスには、プラスドライバー、マイナスドライバーが必要です。

コレクションカップ→週に一度(汚濁物が3分の1以上たまった場合はその時点で)
定期的に掃除をすることにより、より多くの汚濁物を除去することができます。
その際に、洗剤等は使用せず、柔らかい布等を使用してぬるま湯で掃除してください。

バブルパーツ →週に一度

洗剤等は使用せず、柔らかい布等を使用してぬるま湯で掃除してください。

メッシュフィルター→週に一度

洗剤等は使用せず、柔らかいブラシ等を使用してぬるま湯で掃除してください。
汚れがひどくなったり、やぶけた場合は交換してください。

ポンプ→月に一度

ポンプ内部、インベラーにカルシウムが沈殿し固着していないか確認し、固着がみられる場合は布やブラシを用いて除去してください。
ブラシ等が入らない部分に関しては、イージークリーンなどを用いてカルシウム分を溶解させてください。

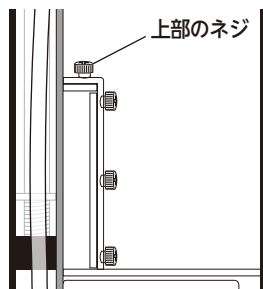
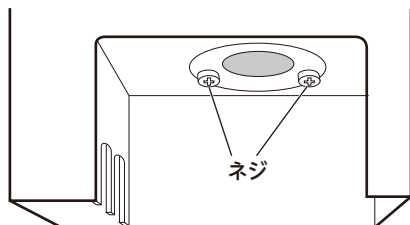
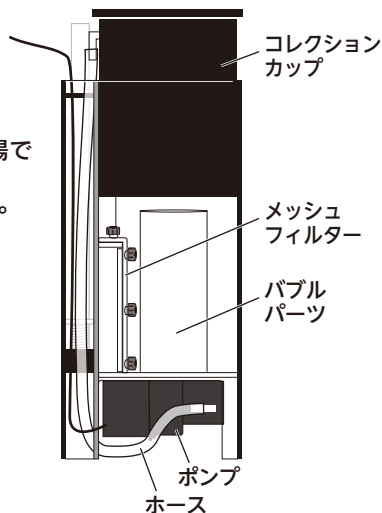
メッシュフィルター、バブルパーツの取り外し方

1. コレクションカップとポンプからホースを外し、コレクションカップとポンプを本体から外してください。

※ポンプとコントローラーをつなぐコネクターが濡れないように気をつけてください。

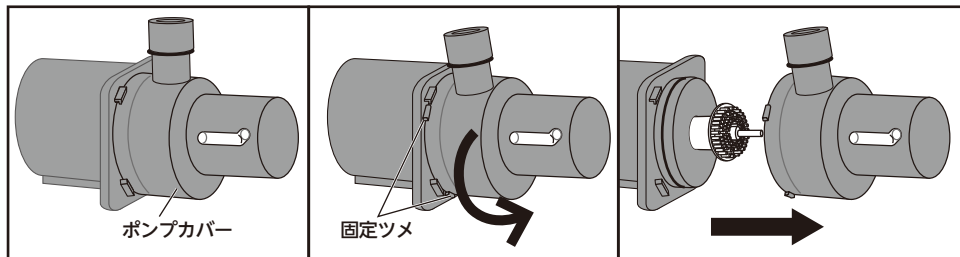
2. バブルパーツを固定しているネジ(2個)をプラスドライバーを使って底側から外し、バブルパーツを取り出します。(右図)

3. メッシュフィルターを固定している上部のネジをマイナスドライバーを使って外し、メッシュフィルターを取り出してください。



ポンプの分解方法

ポンプカバーを反時計回りに回し、固定ツメをずらして、外します。



●消耗部品について



下記のパーツは消耗品です。定期的な確認と交換を行ってください。
Oリング・インペラー・ポンプ・ホース・メッシュフィルター

●アルティマスキマーの保証について

- ・インペラー・モーター等の消耗品部分は、お客さまの使用方法により消耗の頻度が異なるために保障期間内であっても商品の交換はできませんのでご了承ください。
- ・本製品の使用等による万一の生体の死亡等の保証はお受けできません。

●よくある質問 Q& A

・採取カップに水が溢れてしまう。

- ・ろ過層の水位がスキマーの適正水位に合っているかを確認してください。
- ・使用している添加剤がある場合は、スキマーへの影響があるものでないかを確認してください。
- ・水槽の立ち上げ期間、サンゴフード等の添加剤を添加した後はこのような症状になる場合があります。コントロールパイプを調節してスキマー内の水位を下げるか、ポンプコントローラーでポンプ流量を調節してください。
- ・粘膜保護剤は使用できません。一度でも粘膜保護剤を添加すると数回の水換えが必要になります。
- ・比重が適正か確認してください。

・泡がすぐにはじけて採取カップまであがってこない。

- ・ろ過層の水位がスキマーの適正水位に合っているかを確認してください。
- ・水槽の立ち上げ期間、水換え後、添加剤を添加後はこの症状がみられることがあります。その際はしばらく様子を見てください。
- ・比重が適正か確認してください。

・ポンプが動かない。

- ・異物が原因の可能性があります。メンテナンス方法にしたがってポンプを分解し、洗浄してください。
- ・ポンプは消耗品です。使用に伴い、劣化します。定期的に交換してください。
- ・水位低下による空回りが原因で破損していないか、確認してください。

・ポンプは動いているが、泡が発生しない。

- ・ホースがしっかり取り付けられているか確認してください。また、ホースに折れ曲りがないか確認してください。
- ・エアチューブからポンプ吸水口パーツにかけてほこりや塩分が詰まっていると空気を吸い込めず、泡が発生しません。定期的にこの箇所の清掃をしてください。

・スキマー内の気泡が大きすぎる。

水槽内の塩分濃度を確認してください。塩分濃度が低いとスキマーの効果を發揮できません。

・泡が少ない。

給水部分に詰まりがないか確認してください。

・コントローラーのパワー表示画面にLと表示が出る。

コンセントを抜くと、電圧不足のため一時的にLと表示が出ます。問題ありません。

●万トラブルの場合

トラブルやわからない事が発生した場合は、当社ホームページからお問い合わせ、もしくはお名前と症状をご記入いただき下記 E-mail へご連絡いただくか、ご購入のお店にお問い合わせください。

お問い合わせ E-mail : info@mmcplanning.com